

フォローアップ報告書

調査名		9.本物を活かした地域づくりの推進方策に関する調査	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	国土交通省近畿地方整備局企画部広域計画課	
	関係府省(庁)局課名等	経済産業省近畿経済産業局総務企画部企画課、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、(社)関西経済連合会、関西広域機構、大阪商工会議所等	
調査地域		近畿圏全域	
調査年度		平成20年度	
配分額		29,998千円	
調査概要	調査内容	<p>関西が誇る歴史文化資産を活かした地域づくりや優秀な人材の育成・交流拠点の形成など、地域固有の資源を活かした取組を拡大し、関西が日本の文化首都となることを目的とする。</p> <p>そのために、以下のことを実施した。</p> <p>①アンケートやヒアリング等により住民の意向や地域ブランドの実態把握を行いつつ、学識者、国の機関、府県、経済団体による検討会において、関西ブランド創造に向けての取組の方向性、支援の在り方、留意事項を検討した。</p> <p>②「地域資源(=本物)を核とした地域づくり」を圏域全体に広めるため、近畿圏で先行的な取り組みがなされているモデル地域を抽出し、その取り組み概要や課題等を把握するとともに、全国の先進事例等から成功要因等を分析し、「本物」を活かした地域づくりを進めていく上での取り組みのチェックポイントやモニタリングの仕組み(案)等について検討した。</p> <p>③関西における「知の拠点」の形成と人材交流・育成策について検討した。</p>	
	調査結果(成果)	<p>①文化首都圏プロジェクトの柱となる関西ブランドの創造について、あらゆる分野で新たな「本物」を産み出す『ほんまもんイズム』を関西のすべての人の共通認識とすべきであることを検討会で確認した。</p> <p>関西内外の市民を対象としたアンケートでは、関西ブランド創造の取組が支持されることを確認できたのに加え、市民が「本物」の地域資源に期待する要素が明らかになり、今後の基準づくりの参考資料となった。</p> <p>②「本物」を活かした地域づくりの概念を整理した上で、近畿圏における「本物」を活かした地域づくりに先行して取り組んでいる8地域の取り組み概要や成果、課題等を把握し、情報発信用の地区カルテを作成するとともに、全国の取り組み事例からの成功要因分析により、課題別の対応の方向性を明らかにした。</p> <p>さらに、今後の圏域全体への波及を目指し、地域資源の「本物度指標」と取り組みの「やる気度指標」による「本物」を活かした地域づくりの目安となる「セルフチェックリスト」、取り組み課題の解決に向けたヒントをまとめた「支援ツール」、地域における取り組みの活動進捗状況を継続的にモニタリングすることにより、取り組み内容を改善していくためのフォローアップの仕組みとしての「モニタリング手法」の提案を行った。</p> <p>③ヒアリングによる情報収集やデータ分析等をもとに、有識者による検討委員会で「知の拠点」形成へ向けた方向性及び具体的な取り組み案について検討を行った。</p>	
	関係する広域地方計画(中間整理(案)等)	<p>・平成21年3月近畿圏広域地方計画中間整理第3部第1節(1)、第4部第1節、第4部第3節</p> <p>・平成21年3月近畿圏広域地方計画プロジェクト骨子 1.文化首都圏プロジェクト、3.次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト</p>	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・関西ブランドに関する基準や支援について、経済団体や有識者による検討会議設立に向けて調整中。 ・取り組みを推進したいと考える地域への支援の実施を予定。 ・関西の「本物」=「ほんまもん」を活かした地域の取組を市町村提案のプロジェクト検討参考資料として、HPで公表。 ・特に関西の弱みが把握された一元的情報発信・プロモーション機能について、機能強化へ向けた発展的調査を実施予定。 	
	21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿圏広域地方計画(平成21年8月)の第4部主要プロジェクト第1節文化首都圏プロジェクトに「関西ブランドの創造」、「本物の活用・創造」、「本物の継承・活用・創造を担う人材の育成」、「本物の保全」が位置付け。 ・近畿圏広域地方計画第4部第3節「次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクト」の記載内容に反映。 ・ポストドクと中小企業のマッチング、外国人留学生の国内就職支援事業を実施。 	
フォローアップ	22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなやか関西～文化首都年～」に着手。 ・関西拠点間連携推進方策研究会での検討結果を「関西のポテンシャルを活かした国際戦略拠点形成に向けて」として取りまとめ。 	
	23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなやか関西～文化首都年～」について、「茶の文化」をテーマとしたイベント、フォーラムを開催。 	
	総括的評価	<p>調査目的の達成状況とその要因</p> <p>今回の調査を踏まえ、近畿圏広域地方計画の文化首都圏プロジェクト及び次世代産業を創造する「知の拠点」プロジェクトの記載内容に反映された。その後、「関西のブランド力向上有識者委員会」や「はなやか関西～文化首都年～」に関する実行委員会、関西の「地」の拠点」間の連携を推進する「関西拠点間連携推進方策研究会」及び国際戦略総合特区の地域指定を目指した「関西地域協議会 準備会」が設置されるなど、ブロック内の交流・連携が一層推進されており、当初期待された効果は達成されたと考えられる。</p> <p>調査手法の妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿地方整備局と近畿経済産業局ほか関係機関との連携により、幅広い調査を実施できた。 	